

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
ここに当社第155期中間報告書（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）をお届けいたします。

平成23年12月

代表取締役社長 芝 則之



## 営業の概況

当中間期のわが国経済は、東日本大震災からの回復の兆しは見られるものの、大幅な円高と株安の進行、個人消費の低迷が続いているなど先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢下、当社グループが主として事業を展開している新聞印刷業界は、広告収入の減収や新聞発行部数の減少が続いており、また、新聞社間における委託印刷などにより、設備投資需要が減少しており、厳しい状況となっております。

この結果、当中間期の連結業績は、売上高49億57百万円（前年同期比2.4%減）となり低水準の売

上高となりました。経常損失は23億76百万円（前年同期33億2百万円損失）、中間純損失は37億95百万円（前年同期38億7百万円損失）となりました。

通期の見通しにつきましては、売上高90億90百万円、経常損益51億50百万円の損失、当期純損益52億40百万円の純損失を見込んでおります。

中間配当につきましては、厳しい経営環境ならびに工場跡地再開発等への投資を行うため、誠に遺憾ながら見送ることとさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 対処すべき課題

当社グループは、事業環境の変化に対応するため、収益構造の変革および財務体質の強化の必要性を強く認識し、以下の項目を対処すべき課題として、グループを挙げて取り組んでまいります。

① 適正規模の確立 …… 売上規模に見合った組織体制を構築し、事業環境の変化に対応出来る体制を確立いたします。

② 売上高の確保 ……

## (1) 海外市場の開拓

海外営業部門を強化し、新興国を中心とした海外市場への営業活動を積極的に展開しておりますが、今後はさらに海外市場のニーズにあった仕様および価格帯の製品開発を進め、海外売上高の向上を図ります。

## (2) 新製品の開発

現在、当社ではインクジェット方式のデジタル印

刷機「TKS JETLEADER」の商品化を進めております。長年、新聞社のニーズに応え、輪転機を提供してきた経験を活かし、「TKS JETLEADER」を次代の新聞印刷を始めとした印刷方式の形として提案し、新たな需要の創出を行います。

## (3) 新分野の開拓

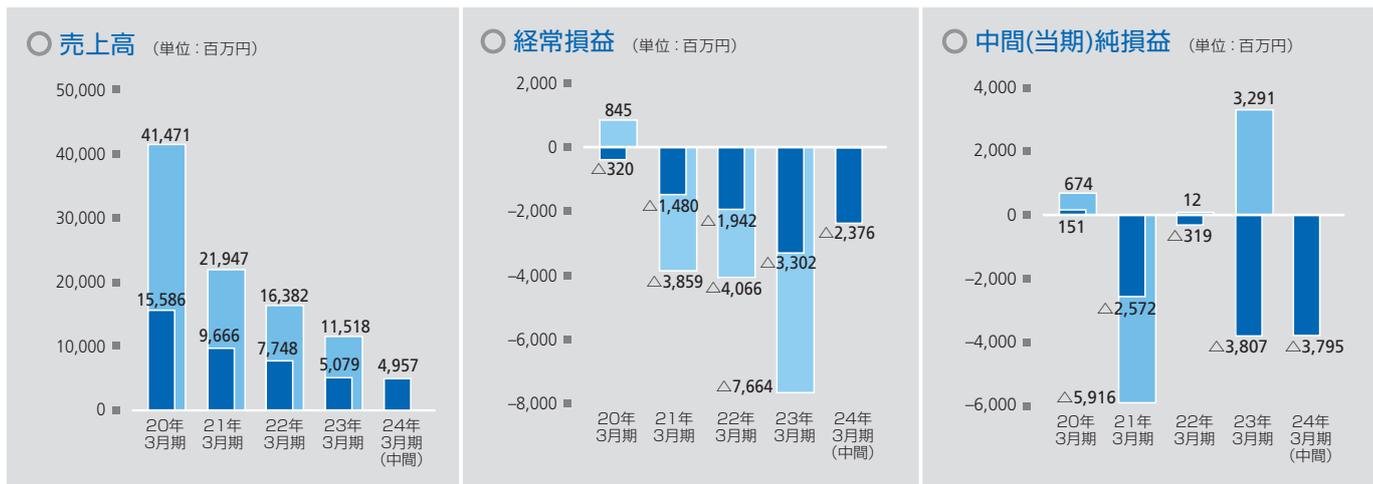
印刷機械以外の分野についても研究開発を行い、長年、機械メーカーとして培ってきた技術を活かし、新たな事業分野の開拓を進めます。

③ コスト削減 …… あらゆる経費の見直しを進めるとともに、新工場かずさテクノセンターでの新しい生産体制により生産性を向上させ、原価低減を進め利益の確保に努めます。

④ 所有不動産の有効活用 …… 玉川製造所跡地等の所有不動産を有効活用し、不動産賃貸関連の売上比率を高めて、収益構造の変革を進めます。

# 財務ハイライト

■ 中間 ■ 期末



## 【製品紹介】 インクジェット方式デジタル印刷機「JETLEADER1500」

「JETLEADER1500」は、次代のデジタル新聞印刷を実現するために開発した、当社として初めてのデジタル印刷機です。

「JETLEADER1500」は、オフセット輪転機と比べ、軽量・コンパクト設計となっており、省スペースで設置が可能となっています。また、デジタル印刷では刷版や製版設備などが不要となり、版材等の廃棄処理や製版時の廃液処理も不要となるなど、優れた経済性と環境負荷の低減を実現しています。



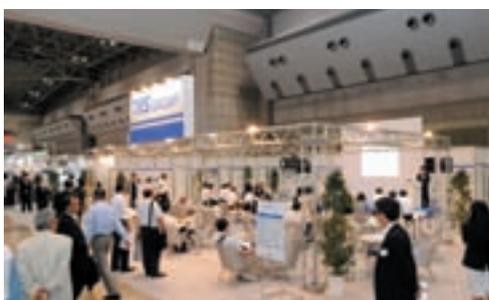
JETLEADER1500

当社が、新聞印刷現場の視点で創り出した「JETLEADER1500」には長年の新聞輪転機製造で培った経験が活かされており、折機構などの後処理工程を組み込むことにより、多ページの新聞印刷が可能となっています。

### NEWS 1 IGAS2011に出展

印刷・紙工・デジタルグラフィックスに関する機材が一堂に会するIGAS2011（国際総合印刷機材展）が平成23年9月16日から21日まで東京ビッグサイトで開催されました。

当社は、デジタル印刷機「JETLEADER1500」と商業用輪転機「カラーマスターHB-5000ED」のパネル展示や、製品紹介および海外新聞社からの受注に関するプレゼンテーションなどを行いました。



### NEWS 2 TKSかずさテクノセンターが本格稼働、玉川製造所は閉鎖

当社は、かねてより進めていた新工場「かずさテクノセンター」への移転作業が完了し、平成23年7月1日より本格稼働いたしました。



#### TKSかずさテクノセンター概要

所在地 / 千葉県木更津市かずさ鎌足一丁目6番  
敷地面積 / 約104,000㎡  
延床面積 / 約 20,900㎡  
従業員数 / 約370名

## 中間連結財務諸表 (要旨)

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	期別	
		当中間期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産		18,599	25,307
現金及び預金		9,126	14,054
受取手形及び売掛金		3,293	3,182
有価証券		900	2,744
仕掛品		3,174	2,914
原材料及び貯蔵品		699	719
繰延税金資産		382	587
その他		1,026	1,108
貸倒引当金		△ 4	△ 2
固定資産		16,412	16,132
有形固定資産		12,051	11,281
無形固定資産		316	362
投資その他の資産		4,044	4,489
繰延資産		22	28
資産合計		35,035	41,469
<b>負債の部</b>			
流動負債		10,605	13,311
固定負債		10,585	10,591
負債合計		21,190	23,902
<b>純資産の部</b>			
株主資本		13,156	16,952
資本金		8,341	8,341
資本剰余金		3,807	3,807
利益剰余金		1,569	5,364
自己株式		△ 560	△ 560
その他の包括利益累計額		△ 346	△ 437
少数株主持分		1,034	1,051
純資産合計		13,844	17,566
負債・純資産合計		35,035	41,469

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	期別	
		当中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高		4,957	5,079
売上原価		5,518	6,542
売上総損失(△)		△ 560	△ 1,463
販売費及び一般管理費		1,475	1,646
営業損失(△)		△ 2,036	△ 3,110
営業外収益		165	202
営業外費用		505	394
経常損失(△)		△ 2,376	△ 3,302
特別利益		48	6
特別損失		928	501
税金等調整前中間純損失(△)		△ 3,256	△ 3,797
法人税、住民税及び事業税		78	51
法人税等調整額		476	△ 38
少数株主損益調整前中間純損失(△)		△ 3,810	△ 3,809
少数株主損失(△)		△ 15	△ 1
中間純損失(△)		△ 3,795	△ 3,807

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	期別	
		当中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		△ 3,151	△ 1,056
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 1,823	337
財務活動による キャッシュ・フロー		△ 99	227
現金及び現金同等物に 係る換算差額		△ 68	△ 115
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)		△ 5,142	△ 606
現金及び現金同等物 期首残高		14,653	10,046
現金及び現金同等物 中間期末残高		9,510	9,440

注：金額は表示単位未満を切り捨てて表示しています。



### 当社ホームページのご案内

最新のニュースリリースやIR情報は以下のサイトにてご覧いただけます。

<http://www.tks-net.co.jp/>

東京機械製作所

検索

## 会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号	株式会社東京機械製作所
創業	明治7年
設立	大正5年2月15日
資本金	83億4,100万円
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
従業員数	527名(連結743名)
本社	〒108-8375 東京都港区芝五丁目26番24号 電話：03(3451)8141(代表)
かずさテクノセンター	〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足一丁目6番 電話：0438(20)5551(代表)
伊賀テクノセンター	〒518-0001 三重県伊賀市佐那具町98番地 電話：0595(23)3891
営業所	札幌、東北(仙台)、名古屋、関西(大阪)、福岡、北京代表処(中華人民共和国)

## 役員 (平成23年9月30日現在)

取締役	代表取締役会長	芝 康平
	代表取締役社長	芝 則之
	取締役副社長	芝 良計
	常務取締役	佐藤 昌良
	常務取締役	北井 光夫
	取締役	勝田 久昭
	取締役	芝 均
	取締役	西村 正喜
	取締役	小林 晴佳
監査役	常勤監査役	武田 昌房
	常勤監査役	原 永 幸治
	監査役	垣内 源雄

## 株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	360,000,000株
発行済株式総数	90,279,200株 (自己株式2,815,770株を含む)

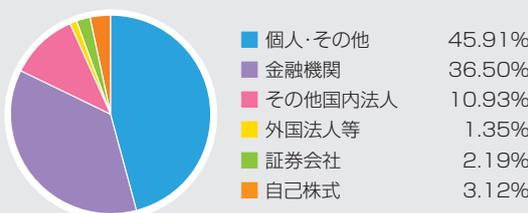
株主数 9,161名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社損害保険ジャパン	6,127	7.00
株式会社三井住友銀行	4,232	4.83
株式会社みずほ銀行	4,232	4.83
日本生命保険相互会社	3,541	4.04
住友生命保険相互会社	2,772	3.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,553	2.91
オークマ株式会社	2,410	2.75
芝 武子	1,935	2.21
株式会社群馬銀行	1,400	1.60
株式会社千葉銀行	1,342	1.53

(注) 当社は、自己株式2,815,770株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別分布状況



### 所有株数別分布状況



## 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主總會	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞および朝日新聞

### 郵便物送付先・お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払 <sup>(※)</sup> 、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱いたします。

## 単元未満株式(1~999株)の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は1,000株単位となっており、単元未満株式(1~999株)を市場で売買することは出来ません。

当社では、「単元未満株式の買取請求制度」および「単元未満株式の買増請求制度」を採用しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願い申し上げます。

### 買取・買増請求制度の例(1,700株ご所有の場合)

